

だれが、どこから、図書館を使っているか

— 令和 7 年度 阿南市立図書館の統計から —

「羽ノ浦図書館・那賀川図書館を守る会」 2026 年 8 月作成

■ この資料について

阿南市立図書館の「図書館年報」には、地区別・年齢別の利用統計が載っています。どの地域の方が、どの年代の方が図書館を使っているのかが分かる資料です。

この資料では、その数字を整理したうえで、そこから守る会が考えたことを書き添えました。

表とグラフの数字は、市が公表している統計のままです。割合や一人あたりの冊数は、その数字から計算しました。「～のように見えます」「～と考えられます」と書いた部分が、守る会の受け止めです。

■ 1. 図書館のある町ほど、登録率が高い

市民のうち何%が図書館に登録しているかを、地区ごとに見たものです。

地区	登録率	
平島（那賀川町）	57.54%	那賀川図書館のある地区
中庄（羽ノ浦町）	56.89%	羽ノ浦図書館のある地区
岩脇（羽ノ浦町）	49.49%	
富岡	48.99%	旧阿南図書館のあった地区
今津（那賀川町）	46.71%	
市平均	44.09%	

上位 5 地区のうち 4 つが那賀川町・羽ノ浦町です。残る 1 つは、旧阿南図書館があった富岡でした。

図書館が近くにあるかどうか、利用のしやすさに表れているように見えます。

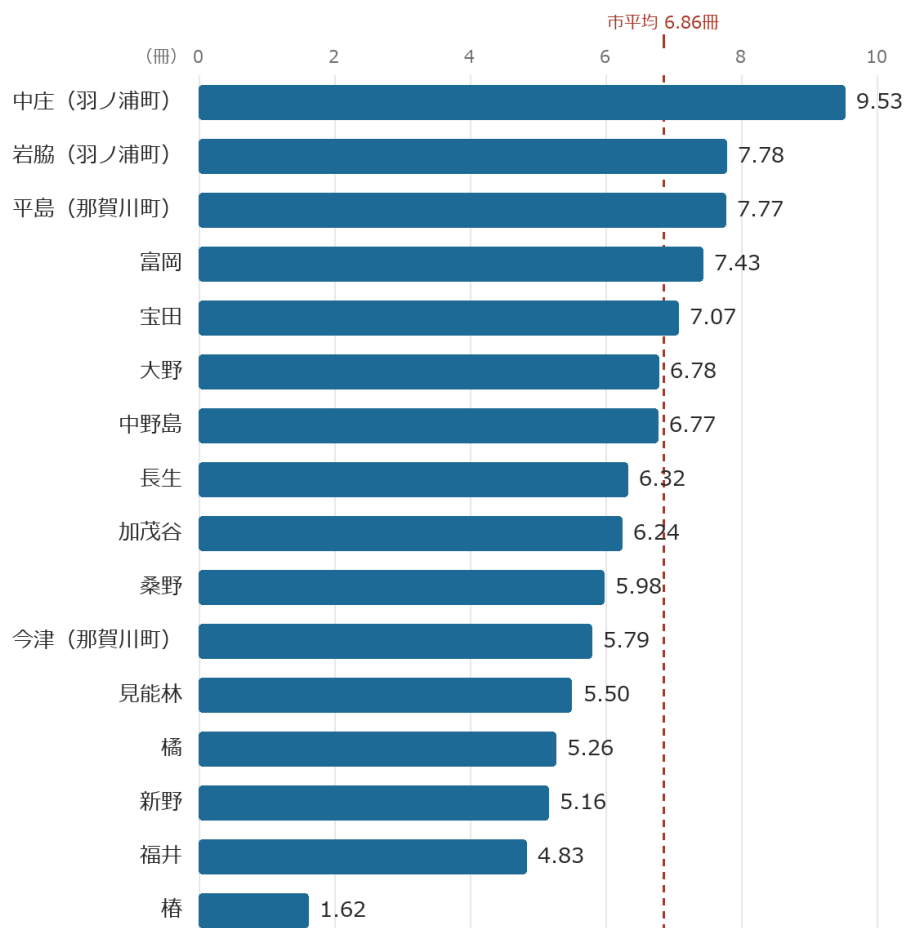
■ 2. 住民一人あたりでは、羽ノ浦町が市内でいちばん借りている

年報の地区別統計は「借りた方の住所ごと」の集計です。地区の人口で割ると、次のようになります。

	貸出冊数	人口	一人あたり
羽ノ浦町（中庄・岩脇）	117,869 冊	13,166 人	8.95 冊
那賀川町（平島・今津）	69,029 冊	9,812 人	7.03 冊
市全体	455,418 冊	66,409 人	6.86 冊

羽ノ浦町・那賀川町にお住まいの方は、市の人口の 34.6%です。その方々が、市全体の貸出の 41.0%を占めています。

下位の地区は、いずれも 3 館のどこからも離れた地区です。関心の差ではなく、距離の差だと考えられます。移動図書館車「ひまわり号」が巡回している地区もあります。



※「()」は図書館のある町。数値は住民の居住地ごとの貸出冊数を、その地区の人口で割ったもの。
 ※下位の地区は、いずれも3館のどこからも離れた地区です。

■ 3. 借りているのは、どんな方か

	男性	女性	合計
登録者数	11,306 人	19,644 人	30,950 人
貸出者数 (延べ)	34,040 人	82,859 人	116,899 人
貸出冊数	136,031 冊	341,128 冊	477,159 冊

貸出冊数の 71.5%を女性が占めています。年代別では 40 代が 25.6%で最も多く、40 代女性だけで全体の 19.6%、30 代女性とあわせると 32.6%になります。

いっぽうで、70 代が 15.0%、60 代が 13.9%と、高齢の方の利用も大きな割合を占めています。

■ 4. 中学生と高校生のあいだにある段差

	登録者数	貸出冊数
13～15 歳（中学生）	768 人	10,569 冊
16～18 歳（高校生）	995 人	1,845 冊

登録している人数は高校生のほうが多いのに、借りている冊数は中学生のおよそ 6 分の 1 です。高校に進むと通学先が変わり、図書館から離れてしまうことがうかがえます。

また、13～15 歳は、借りた延べ人数も冊数も男子が女子を上回る唯一の年代です。登録者一人あたりの来館回数にすると、男子 4.3 回・女子 2.8 回になります。

中学生が自分で行ける範囲に図書館があること。その値打ちが、この数字に表れているのではないかと思います。

■ 5. 蔵書を持たない施設は、他の図書館から借りるしかない

図書館どうして本を貸し借りした件数（相互貸借）です。

	他館へ貸した	他館から借りた
那賀川図書館	414 冊	901 冊
羽ノ浦図書館	310 冊	644 冊
図書館カウンター（市役所内）	0 冊	1,106 冊

図書館カウンターが他館へ貸した本は、1 冊もありません。

蔵書を持たないため、貸せる本がないからです。市内で最も多く借りている（1,106 冊）のに、一度も貸していないことになります。

蔵書を持たない施設は、県立図書館や他の市町の図書館に頼るほかありません。「読書テラス」も蔵書を持たなければ、同じ形になると考えられます。

■ 6. 守る会が願っていること

この統計から見えるのは、羽ノ浦図書館・那賀川図書館が、地域の方に深く使われているということです。住民一人あたりの貸出は市内で最も多く、登録率も上位を占めています。

新しい阿南中央図書館（仮称）の整備は歓迎しています。そのうえで、羽ノ浦図書館・那賀川図書館についても、これからも図書館法に基づく「図書館」として残していただきたいと願っています。

【出典】阿南市立図書館「図書館年報」令和 8 年版（地区別・年齢別ほか。令和 8 年 3 月 31 日現在）

【注】人口も同年報による。割合と一人あたりの冊数は守る会の計算です。2 の市全体は住所別の集計（455,418 冊）で、館別の集計（477,159 冊・市民一人あたり 7.19 冊）とは範囲が異なります。